

Sustainability Action

2025年6月

SEIBU SOGO

【そごう広島店】

広島の問題を一緒に考える

未来につなぐ「海と山の恵み」を開催

知っているようで知らない広島のいいモノ・いいコトを発信し続ける売場「ヒロシマルシェエト」では、6月21日（土）に開催された令和7年度「環境の日」ひろしま大会の一環として、6月17日（火）～29日（日）、広島県の海と山の環境対策の紹介や、江田島市、東広島市の海と山の幸を販売しました。週末には漂流物を使った「海のワークショップ」や、木のぬくもりを感じる「山のワークショップ」も開催。ご来場のお客さまに、広島の自然と人とのつながりを再発見していただくとともに、持続可能な地域づくりへの理解を深めていただく場となりました。



■環境活動の取り組み紹介

広島県が主導する海洋プラスチックごみゼロ宣言の実現に向けて設立された官民連携組織「GSHIP（GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム）」の取り組みや、「東広島市森林づくりパートナー協定」の説明と、締結企業・団体の取り組みをパネルで紹介。

■海と山の幸を販売

えたじま一れ（江田島市）からは、瀬戸内海の恵みである海産物や江田島産のオリーブ製品、醤油、味噌、スイーツなどを販売。道の駅西条のん太の酒蔵（東広島市）からは、地元の酒蔵の日本酒をはじめ、加工食品やのん太の酒蔵オリジナル商品を販売。会場には約100種類の海と山の商品が集まりました。



■海と山のワークショップを開催

自然の素材から作った絵具や、漂流物を使ってアートをつくる「海のワークショップ」と、木片を組み合わせて、木のぬくもりを感じる自分だけのペンダントをつくる「山のワークショップ」を開催。

この取り組みにより、国連で定めたSDGsの
目標 14・15・17の達成に貢献します。

